

**過酷な24時間レースをトラブルフリーで走りきり今季初優勝。シリーズでもトップに**

スーパー耐久シリーズ2008第4戦 「第15回十勝24時間レース」

2008年7月20日(日)～21日(月)

チーム名	: チームホンダアクセス<ゼッケン 76>
クラス	: スーパー耐久 ST-4クラス (全レース参戦予定)
マシン名	: Racing Modulo TYPE R
ドライバー	: 玉本秀幸、小林正吾、古橋譲、伊沢拓也
戦績	: 予選 総合21位/決勝クラス優勝 総合10位
獲得ポイント	: 33点/合計76点 シリーズ1位
天候	: 曇り
出走台数	: 28台

2008年スーパー耐久シリーズ第4戦「第15回十勝24時間レース」が十勝スピードウェイで開催された。昨年惜しくも2位となったTeam Honda Accessは、このレースからシェークダウンテストを済ませた新マシン(2号車)を投入。また同レースで2連勝中の伊沢拓也選手をDドライバーに起用し、万全の体制で十勝スピードウェイ入りした。

十勝24時間レースでは予選がなく、それまでのシリーズポイント順でグリッドを決定。STクラス4でシリーズ2位につけるTeam Honda Accessは総合21番手のグリッドを確保。金曜日と土曜日のフリー走行でセットアップを進め、確かな手応えを掴んで決勝を迎えた。

## &lt;7月20～21日「決勝」&gt;

決勝は曇りのもと15時にスタート。スタートを担当した玉本秀幸は、24時間を見据えた自分たちのペースで淡々と周回を重ね、一度3番手に後退するものの、すぐに2番手を取り戻し、上位を伺う。その後小林正吾、伊沢拓也とつないで玉本に戻りレースはナイトセッションに入る。このあたりから24時間レースならではのトラブルがコース随所で発生する。

そんな中Team Honda AccessのRacing Modulo ADVAN TYPE Rはトラブルの兆候など微塵もなく、順調に周回を重ねる。そして日付が代わる頃、トップに行く#51号車インテグラのステアリング系にトラブルが発生、念願のクラストップに立った。

その後も順調に周回を重ねていくが、修理の終わった#51号車が驚異的なペースで追い上げ、一時同一ラップまで回復してきたが、その後再び同様のトラブルが発生。

Team Honda Accessは2位#51号車と6周のマージンを築き余裕を持ってゴールを目指した。最後は古橋譲にステアリングを委ね、昨年の鬱憤を晴らす十勝24時間レース初優勝を飾ることになった。「初優勝はもちろん、トラブルフリーでレースを終えられたことがなによりうれしい」とレース後玉本は語った。

これで12時間経過時点でのクラス1位に与えられる5ポイントを含め計33ポイントを獲得し、シリーズランキングでトップに浮上した。

次戦は、9月7日岡山国際サーキットで開催される。Team Honda Accessの活躍にご期待下さい。

お客様からのお問合せは 株式会社ホンダアクセス お客様相談室 0120-663521へお願いいたします。  
受付時間:9時～12時 13時～17時 (土日・祝祭日を除く)